

# 令和7年度 第2回 田辺市地域公共交通会議（本宮地域） 会議録

日 時	令和8年3月19日（木）午後2時00分から午後2時50分まで
場 所	本宮行政局3階 大会議室
出席者	15名（代理出席5名）
欠席者	2名
オブザーバー	1名
議 事	1 開会 2 議事 報告 第1号 本宮地域交通空白対策実証運行の結果について（田辺市商工観光部観光振興課） 3 その他 4 閉会
1 開会	
2 議事	第1号 本宮地域交通空白対策実証運行の結果について（田辺市商工観光部観光振興課）
議 長	<p>それでは、早速ですが議事を進めてまいりたいと思います。本日の協議事項について事務局から概要の説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>田辺市観光振興課から、令和7年11月に実施した本宮地域における交通空白時間帯の観光客の属性や移動ニーズなどのデータを収集・分析を行うことを目的とした実証運行の結果に関する申し出がございました。</p> <p>本件につきましては、前回の田辺市地域公共交通会議においてご承認いただいた実証運行の結果を、ご報告申し上げるものです。よろしくお願いいたします。</p>
議 長	<p>それでは、協議事項第1号「本宮地域交通空白対策実証運行の結果について」、田辺市観光振興課から説明をお願いいたします。</p>
観光振興課	<p>（資料に基づき運行概要について説明）</p>
議 長	<p>ただいまの説明にご意見、ご質問等はありませんか。</p>
A委員	<p>資料の中に大型車両を所有している旅館が少ないとありますが、これは何を指しているのでしょうか。</p>

観光振興課	比較的大きな旅館が所有しているマイクロバスを想定したものです。
A委員	旅館が所有している送迎用バスという理解でよろしいですか。
観光振興課	ご認識のとおりです。
A委員	湯の峰エリアと川湯エリアには、それぞれ何台あるのでしょうか。また、実証実験期間中も同様の送迎が行われていたのでしょうか。
本宮行政局	湯の峰エリアが1軒、川湯エリアが2軒の旅館が比較的大きなマイクロバスを所有しています。旅館のサービスの一環として、発心門王子や伏拝王子などへ、路線バスの時間帯に合わないお客様を送迎したり、逆に夕方バスに乗り遅れたお客様を送迎したりしています。小さな民宿については、自家用車でやむを得ず送迎しているところもあります。実証運行期間中もこうした送迎は行われていました。
A委員	実証運行期間中、トラブルや大きな問題はありましたか。
観光振興課	大きなトラブルは特にありませんでした。夕方の公共ライドシェアでは地元住民の方にドライバーをお願いしましたが、利用者の多くが海外の方であったため、コミュニケーションを取ることが難しかったという話がありました。
B委員	令和7年度に実証運行をされましたが、令和8年度には本格運行されるのでしょうか。そのための予算は確保されているのですか。
観光振興課	(本日説明した運行計画(案)につきましては、)令和7年度の実証運行を踏まえたものになります。資料にも記載していますが、(令和8年度の実証運行にあたっては、)国の補助金の活用を考えており、その採択を受けた上で、田辺市の6月補正予算で計上して進めていきたいと考えています。
B委員	令和7年度に行った実証運行の内容が、そのまま令和8年度でも実施できるということですか。
観光振興課	令和7年度の実証運行と同じことができるできないというよりは、実際にどれだけの方がどれだけの区間を輸送できていないのか。例えば、夕方の需要が多いと予想していましたが、実際にはそこまで多くなく、大型バスは不要だと分かりました。このため、夕方は既に本宮あすなる会様が運行するイブニングライドの利用促進を図りたいと考えています。
B委員	それを踏まえて、春や秋に実施されるのでしょうか。
観光振興課	令和8年度については、国の交付金が採択され、6月議会で予算が承認いただければ、

	<p>秋頃に実施する計画で取り組みたいと考えていますが、今まさに春の繁忙期ではありますが、実施する予定はありません。</p>
B委員	<p>秋は実施できそうだが、春は実施しないということでしょうか。</p>
観光振興課	<p>春は予算計上を行っておりませんので、実施しません。</p>
B委員	<p>実証運行に関しては、国から予算が出るが、本格運行となると国から出ないという話があったと思います。その後、国の方針に変更はあったのでしょうか。本格運行になった場合、国の予算は出るのかどうか教えてください。</p>
観光振興課	<p>令和7年度の実証運行を踏まえて令和8年度に本格運行を考えていましたが、今回は本宮だけでなく、紀伊田辺駅や中辺路の近露地区までを包含した新たな枠組みで、国の補助事業として申請することを考えており、令和8年度も引き続き実証運行という形で実施したいと考えております。</p>
B委員	<p>令和7年度の実証実験を令和8年度に実施する場合、国の補助は出るのかという点を教えてください。</p>
企画広報課	<p>現在の国の補助制度では、実証運行やイニシャルコストに対して補助金が出る仕組みが中心です。一方、地方単独路線で運行する場合、ランニングコストに対する補助は不十分となっています。私どもとしてはランニングコストに対する支援が必要であると国や県に求めているところですので、ご質問のお答えとしては、ランニングコストに対する国の補助金は、現状無いと認識しています。</p>
C委員	<p>大型車両を所有する旅館が少ない、無償で発心門王子まで送迎していると説明がありましたが、これは何名くらいなのでしょう。</p> <p>今後も旅館の送迎サービスを行うにあたり、登録申請をすればライドシェアとして本格的に運行は可能となると思います。しかしそれをされるとタクシーの利用者数が0となるため、弊社としては撤退しなければなりません。それをよく検討していただきたい。</p> <p>実証運行の結果がハイエースクラスで足りるという説明がありましたが、旅館がマイクロバスでの送迎サービスをしているのであれば、その送迎サービスの利用者数は反映されていないためそれ以上の需要がある可能性もあります。</p> <p>弊社としては、需要があれば本宮大社にジャンボタクシーを待機させるなどの対応も検討しますが、利益が出なければ運行できません。</p> <p>資料に大型車両を所有する旅館が少ないとありますが、各旅館が大型車両を所有していた場合は各旅館が送迎サービスをしていたのでしょうか。</p> <p>また、旅館が送迎サービスを行っている以上、どれだけのお客様がいるのか見当がつかない状況です。</p> <p>さらに、実証運行は最も混雑する時期に実施されていましたが、昨年11月は中国人観光客が減少していたため、現状で十分であるといった感覚は厳しいのではないかと思います。</p>

<p>議長</p> <p>本宮行政局</p> <p>議長</p> <p>観光振興課</p> <p>議長</p>	<p>ます。</p> <p>NPO 法人によるライドシェアを支援することは構いませんが、登録した時間帯やそれ以上のお客様の送迎は絶対にしないでくださいと以前からお伝えしている。ライドシェアを運行する登録車両にマグネットステッカー（ライドシェアの許可番号等）を、貼っているのか和歌山運輸支局や田辺市で確認していただき、許可を有している車両なのかの区別がつくようにしていただきたい。</p> <p>旅館がサービスだからといって送迎を行うと、弊社としても対応を考えなければならないため、よろしくお願いします。</p> <p>旅館がしっかりルールを作り、制度の中でやってくださいというお話が第一であったかと思いますが、それらの徹底はお願いできますでしょうか。</p> <p>旅館の送迎は昨年度の実証運行とは無関係に、あくまでバスに乗れなかったお客様への対応として行われていたものです。龍神バスに発心門王子までの路線がなかった頃の名残でもあります。ただ、旅館としては、リスクが伴いますので、路線バスやタクシーなどの公共交通機関を利用していただきたいというのが正直なところだと思います。</p> <p>実証運行とは切り離して考えること、そして基本的には公共交通機関を利用いただくという趣旨で実証運行を行うということでもよろしいでしょうか。</p> <p>はい。</p> <p>ほかにご意見・ご質問はございませんでしょうか。</p> <p>（ご意見・ご質問等なし）</p> <p>それでは、このあたりでとどめたいと思います。ありがとうございます。</p> <p>報告事項第1号「本宮地域交通空白対策実証運行の結果について」は終了させていただきます。</p>
<p>3 その他</p>	
<p>議長</p> <p>A委員</p>	<p>その他といたしまして、委員の皆様から何かございませんか。</p> <p>実証運行というのは、本格運行に向けた検証であると認識していますが、令和7年度の実証運行を受けて令和8年度は国の予算を活用して実施されるということは分かりました。</p> <p>現在の情勢を踏まえると、令和9年度、令和10年度も引き続き多くの観光客の方々にお越しいただき、賑わうことを期待していますが、現状のままではオーバーツーリズムが発生してしまうため、令和9年度以降についても、田辺市として同様の取組を積極的に検討していただけるということでもよろしいでしょうか。</p>

<p>観光振興課</p>	<p>まず、令和8年度に予定している紀伊田辺駅から快速バスでの運行といった実証運行ですが、今年度の実証運行を契機として、各種交通事業者の皆様には、それぞれの課題に対し様々な方策を真摯にご検討・ご議論いただく中で、様々な意見がございましたが、それらを近畿運輸局様に取りまとめでいただき、ご提案いただいたことから始まり、協議を行ってきたところです。</p> <p>田辺市観光振興課として、(令和8年度の実証運行(案)では、)既に同様の課題を抱えていた紀伊田辺駅前や中辺路町近露地区などを包含した、新たな移動手段の枠組みを構築することができており、観光客が今後も増加していく流れの中で、交通空白の解消やオーバーツーリズム対策などに対して効果的であると考えております。</p> <p>令和8年度の実証運行を通じ、令和9年度以降も継続できるよう、地元の皆様や交通事業者の皆様と連携し、持続可能な交通体系の構築に向けて取り組んでまいりますので、引き続きよろしくお願いたします。</p>
<p>オブザーバー</p>	<p>本日は、今年度の国土交通省予算を活用した実証事業の報告と、次年度の取組ということで、私どもも各種交通事業者や協会の皆様と共に、次年度に向けこの地域で何に取り組むべきか、多くのご意見を伺い、それをお伝えした中で、田辺市として国の予算を活用して次年度も取組を進めていただけることをありがたく思っています。</p> <p>次年度の取組を進めるにあたり、今年度は、現場で外国人旅行者の方々がバスやタクシーを十分に利用できていない状況があるとの認識から、実際に朝夕の時間帯でどれだけ利用があったのかを調査いただいたものと理解しております。</p> <p>次年度については、バス事業者、タクシー事業者の皆様で、実際に課題となっている時間帯や地域において、どのような輸送が適切か、様々な取組を持ち寄っていただき、そこに国の予算を充てて進めていただけたと思います。</p> <p>その際には、実証運行において宿泊者がどこからどこへ移動しているのか、移動手段や輸送量が十分確保されているのかといった検証が必要だと思っておりますので、客観的なデータの結果も併せてご確認いただけるようお願いいたします。</p>
<p>議長</p>	<p>ほかの委員の皆様からご意見等よろしいでしょうか。</p> <p>特にご意見等なければ、以上をもちまして、令和7年度第2回田辺市地域公共交通会議を終了させていただきます。委員の皆様には熱心なご議論いただき誠にありがとうございました。</p>

【終了】